

「香害」被害でアレルギー増加

先日、小児アレルギー学会の機会に昔の仲間が集まりました。そこで宮城県で開業しています「**かくたこども&アレルギークリニック**」の角田先生からのプレゼンがありました。「**子どもの免疫を脅かす有害物質イソシアネート**」についてでした。

以前この「たま通信（第95号、平成25年8月号）」で「柔軟剤のスメハラとは？」というタイトルで**化学物質過敏症**の事を書きました。**人工香料（化粧品、シャンプー、柔軟剤、芳香剤など）で頭痛、吐き気、じんましん、鼻炎の悪化を引き起こす人が少なくありません。**小児では神経系の発達への影響（多動など）や味覚や嗅覚の発達異常を起こす可能性があります。

今回はその香りを長持ちさせるために**マイクロカプセル（数ミクロンから50ミクロン）で、それに香料を入れ、たたいたりするとカプセルが壊れて香料が飛び散る仕組みです。**そのカプセルの壁材が**毒性の強いイソシアネート（ウレタン樹脂の原料）で揮発します。**

角田先生はアトピー性皮膚炎や気管支喘息の患者を対象にイソシアネートのIgE抗体を調べたところ322例中（0～80歳）35例（10.9%）が陽性（測定値>0.34）、56例（17.4%）がやや反応あり（0.10～0.34）で**トータル23.3%の症例で上昇傾向があったと指摘しています。**

イソシアネートによる症状は接触性皮膚炎（発赤、かゆみ）、じん麻疹、喘息発作、頭痛、吐き気、めまいなど多種の臓器に影響があります。イソシアネートはウレタンの原料であり、衣服に使用されている**ポリウレタン（伸びる衣類、すべすべした衣類に組み込まれている）**は、数年で劣化し、

製品の品質は低下していき、劣化の過程でポリウレタンは分解してイソシアネートが揮発します。

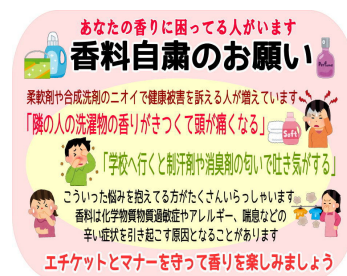
家屋・家具からウレタン発砲断熱材、壁・床・天井・家具の合板接着剤からもイソシアネートが揮発します。

角田先生によれば「**アレルギーとは、哺乳動物が進化の過程で獲得した毒物・化学物質を避けて身を守るための防御手段**」と言っています。イソシアネートにアレルギー反応を起こして、イソシアネートが体内に入ることを阻止しようとしている現象ということです。

このイソシアネート抗体は保険適応でアレルギー項目にありますので、特にアトピーやじんましんの患児には、今後検査をしていくつもりです。**いずれにしても何らかのアレルギー症状を持つ人は、香料が入ったものには注意が必要です。**

最後に角田先生の一言です。「**アレルギー反応を敏感に発揮できる能力を持った人たちは、環境の悪化をいち早く察知し、周囲の人たちに教えることが出来ます。アレルギーの人たちの教えに従って行動することがその集団全体の健康をいい方向に導いていきます。原因を考えず、環境を変えずに、無理矢理アレルギーを押しさえ込んではいけません。**

アレルギーを起こしている原因を考え、環境や食べ方を変えることが大切です。」



（たまなは）